

## セカンドステージ設計科目群

|               |  |      |                 |     |     |
|---------------|--|------|-----------------|-----|-----|
| 科目コード         | OG315  | 科目名  | セカンドステージの住まいづくり | 科目群 | 第3群 |
| 担当者           | 甲斐 徹郎 (カイ テツロウ)  |      |                 |     |     |
| 開講日程・時限       | 夏期集中8月22日、23日、26日 (10:00~17:00)  | 授業方式 | 対面              | 単位数 | 2単位 |
| 備考            |  |      |                 |     |     |
| 授業の目標         | 自身の「しあわせ」と「健康」とを目的として、自分の住まいを点検し、自己評価できる力を身につけ、その改善計画を立案することを目標とする。  |      |                 |     |     |
| 授業の内容         | 我々にとっての「しあわせ」と「健康」には暮らしの拠点である住まいのカタチが大きく影響している。たとえば、クーラーに頼らない「涼しさ」や、深部体温を下げない「暖かさ」といった住まいの熱環境は快適性を高め、同時に健康寿命に大きく作用する。また、身近なコミュニティとの関係があり孤立しないことは、「しあわせ」の本質であり、「健康」への影響も指摘されている。この授業では、人生の拠点としての住まいのあり方を考え、その改善の仕方を学ぶ。  |      |                 |     |     |
| 授業計画          | <p>第1日 第1回 住まいと健康<br/> 第2回 クーラーなしでクーラーより快適な住まいの作り方 (1)<br/> 第3回 クーラーなしでクーラーより快適な住まいの作り方 (2)<br/> 第4回 健康に大きく影響する冬暖かい住まいの作り方<br/> 第5回 孤立しない住まいの作り方</p> <p>第2日 第6回 「しあわせ」の本質を考える<br/> 第7回 住まいのカタチとコミュニティの関係<br/> 第8回 自分にとってのコミュニティの意味を考える<br/> 第9回 コミュニティの暮らしへの活かし方 (1)<br/> 第10回 コミュニティの暮らしへの活かし方 (2)</p> <p>第3日 第11回 コミュニティが形成されるメカニズム<br/> 第12回 人生の拠点として自分の住まいをデザインする演習 1<br/> 第13回 人生の拠点として自分の住まいをデザインする演習 2<br/> 第14回 受講生による企画発表</p> |      |                 |     |     |
| 成績評価方法        | 平常点およびレポート試験の総合評価  |      |                 |     |     |
| 講義中に直接使用する教科書 |  |      |                 |     |     |
| 上記教科書以外の参考図書  | 甲斐徹郎、2018、『人生を変える住まいと健康のリノベーション』、新建新聞社、1,900円 (税別)。甲斐徹郎、2016、『不動産の価値はコミュニティで決まる』、学芸出版社、1,900円 (税別)。  |      |                 |     |     |
| その他 (HP 等)    | <a href="http://www.teamnet.co.jp/wp/?cat=39">http://www.teamnet.co.jp/wp/?cat=39</a><br><a href="http://www.teamnet.co.jp/wp/?cat=38">http://www.teamnet.co.jp/wp/?cat=38</a>   |      |                 |     |     |